

議会報告会を開催しました



多くのご意見をいただきました(市文化会館)

議会報告会「市民と議会との懇談会」は、30人の参加、154件に上るご意見をいただきました。皆さまからの主なご意見や会で実施したアンケートの集計結果を報告します。

**市民と議員との
自由な意見交換**

議会報告会は、市のさまざまな課題に柔軟に対処するため、市民と議員とが自由に情報や意見を交換する場として開催するものとして、議会基本条例第9条に規定しているものです。

今回は「子育て支援について」を共通テーマに開催しました。参加者の男女構成は、男性86人（66・2%）、女性44人（33・8%）と、女性の割合が初めて3割を超えるました。

市民と議員との 自由な意見交換

- テーマを絞り込んだことがよい。いろいろなテーマを設けて報告会を続けてほしい
 - 安心して子どもを預けることができる保育環境の整備に努めてほしい
 - 報告会を定期的に開いてほしい
 - 市民の声を大切にし議会運営に生かしてほしい
 - 開かれた議会、情報発

主なご意見等

■ アンケート集計結果 ■	
1 所要時間(1時間30分)について	
長い	25人 22.1%
ちょうどよい	75人 66.4%
短い	13人 11.5%

2 議員の説明について		
わかりやすい	42人	37.8%
どちらともいえない	56人	50.5%
わかりにくい	13人	11.7%

3 共通テーマの意見交換について		
よい	80人	72.1%
どちらともいえない	27人	24.3%

よくな	4人	3.6%
4 議会報告会の評価について		
評価する	51人	46.4%
どちらともいえない	42人	38.2%
改善を要する	17人	15.4%

いを に 帰り 改善を要する 17人 15.4%

臨時会 2 / 19



人事案件3件を可決

除雪経費

平成26年第1回臨時会が、2月19日に開かれました。この臨時会では、人事案件3件（副市長および教育委員会委員）のほか、平成25年度花巻市一般会計補正予算などの市長提出案件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

花巻市副市長の選任に
関し同意を求めるごとに
ついて2件、花巻市教育
委員会委員の任命に関し
同意を求めるごとにについ
て、原案のとおり可決
しました。

除雪経費 3億円を追加

議会運営委員会、特別委員会 行政視察レポート

本市議会で現在協議中の本年7月の改選後の常任委員会の数と人数について視察しました。

【鹿児島県薩摩川内市議会】

議員定数が34人から26人に伴い、常任委員会の構成を協議した結果、現行どおり4つとし、所管もそのまま、委員の数は各2人の減とすることで決定したとのことでした。

少人数の委員でも議員の資質と専門性の向上で対応できる。3つの常任委員会では各委員会の所管するポリュームが大きくなり、チェック機能が果たせないなどの理由からでした。

【鹿児島県霧島市議会】

議員定数を34人から26人に削減することで、従来の4つの常任委員会を3つに再編していました。その理由として、ある程度の数の委員を確保して多様な意見を出しながら協議を行う必要がある。専門家の意見では、1つの常任委員会で最低7人以上必要であるとのことなどでした。

(まとめ) 薩摩川内市議会では、条例や予算、決算審議事件などが各常任委員会に分割付託されていました。このように、委員会付託の状況や、他の特別委員会の数などを考慮して、常任委員会の数を検討するべきとの感想を持ちました。

このほかに、議会の録画、録音中継放送、議案審議などでの質問者への時間割り当て、それに議会関係予算の要求の進め方などを視察してきました。今回の視察で学んだことを今後の議会運営の方に生かしていきます。

平成26年1月29日～31日

議員定数削減により今後の議会のあり方を視察 (薩摩川内市議会)

平成26年1月29日～31日



議会と住民とをつなぐ議会だよりについて視察(利府町議会)

いため、編集が偏らないよう、全体のバランスをとる「スーパー・バイザー」の役割を担っていました。「議会と住民をつなぎ手段として議会だよりも最大限活用できるよう取り組む」という編集方針のもと、議会の情報発信等と同時に、中学生や高校生への「議会教育」の材料となり得る紙面づくりを基本としていました。

また、余白は無駄ではないと、1ページ当たり文章40%、見出しと写真40%、余白20%と贅沢に使うことで読みやすさを追求。表やグラフを多くしたり、タイトルを思い切った表現にしたりと工夫していました。